

 **EG-Plus2**

# ユーザマニュアル

**Version 2.2**

## 編集履歴

編集日付	編集内容	版数
2022年4月25日	初版	1.0
2022年9月26日	第二版（全改定）	2.0
2022年10月14日	3頁 目次頁を追加 4頁 表1-1 バージョン !.2.9に変更 21頁 <ストローの口径についての注意事項>を追加 12頁 再起動の手順 3 の追加 15頁 メール通知を一時的に使用不可にWEB設定画面修正 18頁 メール通知“を一時的に使用不可しない説明に修正 26頁 SC-502の手順 1 を変更 26頁 SC-502の測定手順を変更。 27頁 手順 3 のページを追加 29頁 ネオブルーの手順 1 を変更 29頁 ネオブルーの測定手順を変更。 30頁 手順 1 のページの追加 31頁 4.5章“アルコール測定結果が表示されない時”を追加 37頁 8.2章を移行のためページを追加 38頁 9章“CSVファイルの説明”を追加	2.1
2023年1月16日	4頁 ファームウェアバージョン：1.2.10に変更 10,11,12,14頁 ダッシュボード画面のログ件数表示の横軸を日～土曜日固定表記から、最新のログの日付から1週間前までに変更 同画面の緑ボタンは、機能無に変更 20頁 詳細設定に、システムログの項目を追加 以降、頁を繰り下げ 25頁 プリマズワンにおいて、検出したアルコール値により次の測定まで時間を空ける注意事項を修正 27頁 4.2.1章“SC-502の事前準備”の手順を修正 30頁 4.3.1章“ネオブルーの事前準備”の手順を修正 33頁 4.4章“アルコールチェックの自動判別”の手順5にalc設定の動作についての説明追加 34頁 6章“ラベル・プリンタ”に、【検温のみの時の注意事項】を追加 39頁 8.2章“データ送信のデータ内容”に、“devid”の項目を追加修正 41頁 10章“システムログ”を追加 41頁 11章“EG-Keeperのパラメータへの自動設定について”を追加 42頁 12章“時刻同期について”を追加	2.2

1. 概要	4
1.1. インターフェース拡張ユニットとPC の接続	4
1) 電源ONの手順	4
2. EG-Plus 2 の接続	5
2.1. 接続図	5
2.2. ネットワーク接続設定/PCのIPアドレスの設定	9
3. WEB設定ツールの説明	10
3.1. WEB設定ツールの起動と終了	10
3.1.1. 起動手順	10
3.1.2. 終了（電源OFF）手順	11
3.1.3. 再起動手順	12
3.1.4. EG-Plus2への再ログイン	13
3.2. ダッシュボード画面	14
3.3. ログ画面	15
3.4. 詳細設定	16
3.5. 管理者	22
3.6. ファームウェア	23
4. アルコールチェックの方法	24
4.1. プリマスワンZERO	24
4.1.1. プリマスワンの事前準備	24
4.1.2. プリマスワンによる測定方法	25
4.2. SC-502 ソシアックNEO	27
4.2.1. SC-502の事前準備	27
4.2.2. SC-502による測定手順	28
4.3. ネオブルー（NEO BLUE）	30
4.3.1. ネオブルーの事前準備	30
4.3.2. ネオブルーによる測定手順	31
4.4. アルコールチェックの自動判別	33
4.5. アルコール測定結果が表示されない時	33
5. カスタムボタン	33

6. ラベルプリンタ.....	34
6.1. QL-800.....	34
6.1.1. 事前準備.....	34
6.1.2. 印刷設定と印刷例.....	35
6.2. BD410D.....	36
6.2.1. 事前準備.....	36
6.2.2. 印刷設定と印刷例.....	36
7. EG-Plus2の緊急時の対処方法.....	37
7.1. 一時的に初期IPアドレスでアクセスする方法.....	37
7.2. EG-Plus2本体の初期化する方法.....	37
8. 外部送信データの内容説明.....	38
8.1. メール通知のデータ内容.....	38
8.2. データ送信のデータ内容.....	39
9. CSVファイルの説明.....	40
10. システムログの説明.....	41
11. EG-Keeperのパラメータへの自動設定について.....	41

## 1. 概要

本書では、EG-Keeperから出力される検温結果及びアルコール検知器から出力されるアルコール濃度をプリンタに印字したり、メール通知、サーバーへのデータ送信機能を持つインターフェース拡張ユニット2（以降、EG-Plus2と呼称）の取り扱いについて説明します。

また、本書で説明するEG-plus2のファームウェア・バージョンを表1-1に示します。

表 1-1 ファームウェア・バージョン

バージョン	ファームウェア名
1.2.10	egplus2_release_20230116101545_v1.2.10.firmware

### 1.1. インターフェース拡張ユニットとPCの接続

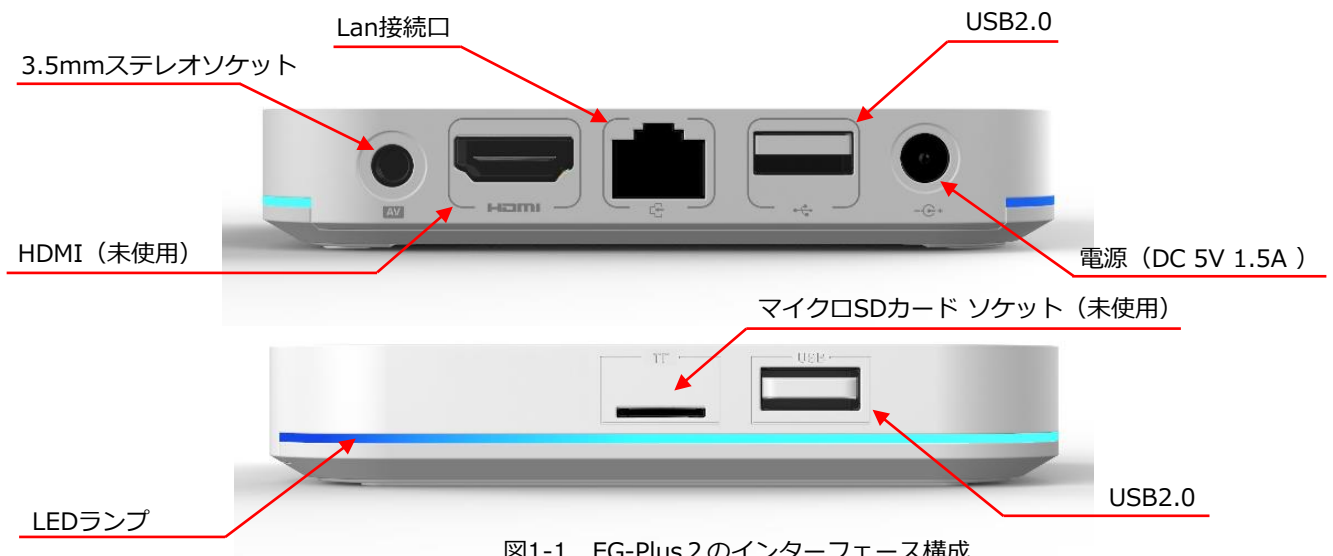


図1-1 EG-Plus 2のインターフェース構成

#### 1) 電源ONの手順

EG-Plus 2の電源アダプターを挿入し、電源をオンにします。



図1-1 EG-Plus2 背面



図1-1 EG-Plus2 正面 LED

## 2. EG-Plus 2の接続

### 2.1. 接続図

EG-Plus2は、設置するネットワーク環境によって様々な構成が可能で、主な接続例について説明します。イーサネットHUBを必要とする構成をお考えの場合は、お客様にて、イーサネットHUBや不足のLANケーブルをご用意ください。

また、赤字でIPアドレスの設定例を示します。実際のIPアドレスは施設のネットワーク管理者等に相談の上、環境に合わせて設定してください。

注. アルコールチェッカー(Bluetooth機器)との電波干渉を避けるため、EG-Plus2のWi-Fi接続には、5GHz帯をご使用することを推奨します。

#### ① ローカルネットワークに接続する場合

イーサネットHUBを経由して、各機器を接続し、初期値のIPアドレスを使用し、最も容易に全機能を利用できるシステム運用が可能となります。

IPアドレス等の設定は、表2-1に従ってください。

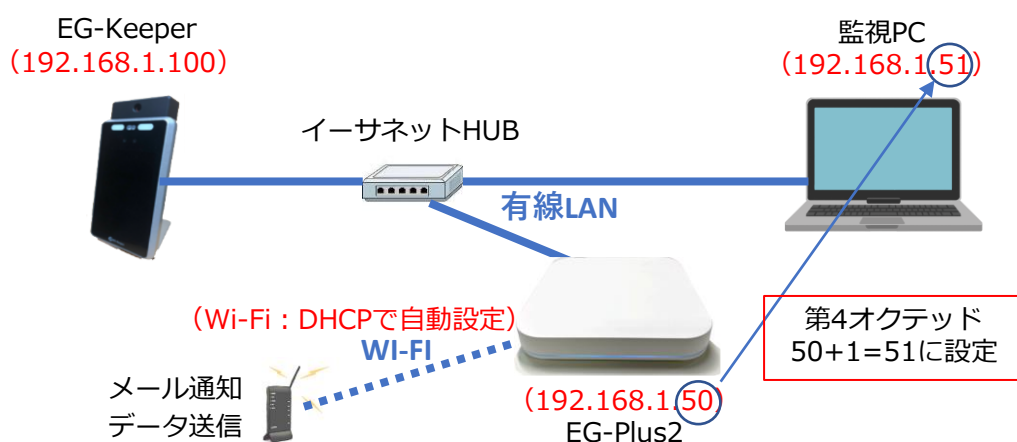


図2-1 ネットワーク接続図

No	機器	接続方法	DHCP設定	アドレス設定
1	監視PC	有線	無効	EG-Plus2 有線LAN IPアドレスの第4オクテッド + 1 に設定する。 IPアドレス：192.168.1.51 サブネットマスク：255.255.255.0 ゲートウェイ：192.168.1.1
2	EG-Keeper	有線	有効（初期値）	ルータに接続されていないため以下に固定となる。 初期値：192.168.1.100
3	EG-Plus2	有線（LAN）	無効固定	初期値：192.168.1.50 サブネットマスク：24（255.255.255.0と同じ意味） ゲートウェイ：192.168.1.1
4		無線（Wi-Fi）	有効（初期値）	初期値のDHCP自動設定で取得する。

表2-1 IPアドレス等の設定

## ② 施設内ネットワークに接続する場合

イーサネットHUBを経由して、施設内（社内）ネットワークに接続します。

施設内ルータのIPアドレスの第3オクテッドが“200”であった場合を例として、IPアドレス等の設定例を表2-2に示します。

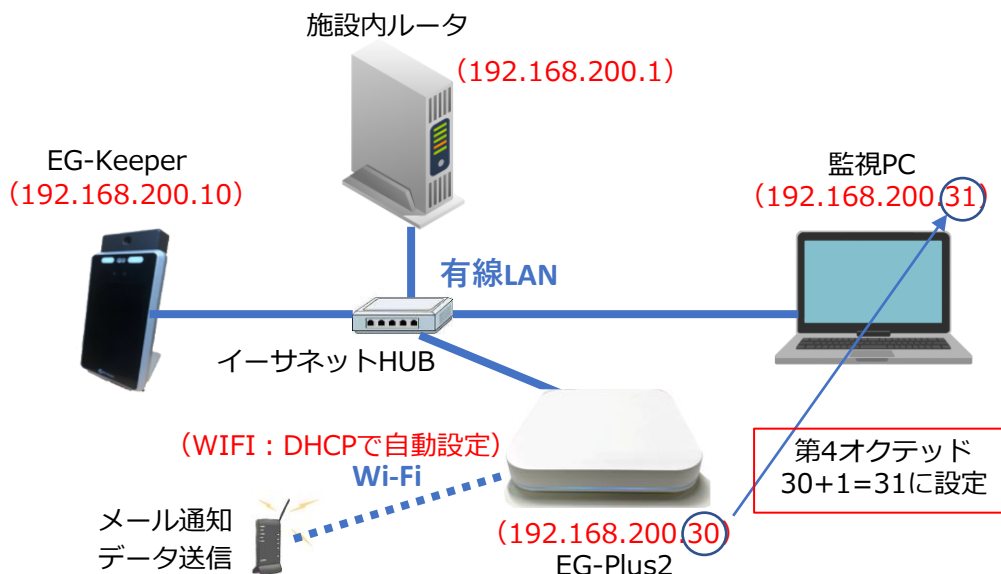


図2-2 ネットワーク接続図

No	機器	接続方法	DHCP設定	アドレス設定
1	監視PC	有線	無効	EG-Plus2 有線LAN IPアドレスの第4オクテッド+ 1 に設定する。 IPアドレス：192.168.200.31 サブネットマスク：255.255.255.0 ゲートウェイ：192.168.200.1 DNS：192.168.200.1
2	EG-Keeper	有線	無効	DHCP有効に設定すると電源ON毎にIPアドレスが変わる可能性があり、EG-Plus2側でその都度設定し直しが発生するため、アドレス固定にする。 初期値：192.168.200.10
3	EG-Plus2	有線 (LAN)	無効固定	初期値：192.168.200.30 サブネットマスク：24 (255.255.255.0と同じ意味) ゲートウェイ：192.168.200.1 DNS：192.168.200.1
4		無線 (Wi-Fi)	有効 (初期値)	初期値のDHCP自動設定で取得する。

表2-2 IPアドレス等の設定

### ③ 施設内無線LANネットワークに接続する場合

WiFiルータ（LANポートがあることが必須）のみで施設内ネットワークを構成している場合、イーサネットHUBを経由して、WiFiルータのLANポートに接続します。  
施設内ルータのIPアドレスの第3オクテッドが“200”であった場合を例として、IPアドレス等の設定例を表2-3に示します。

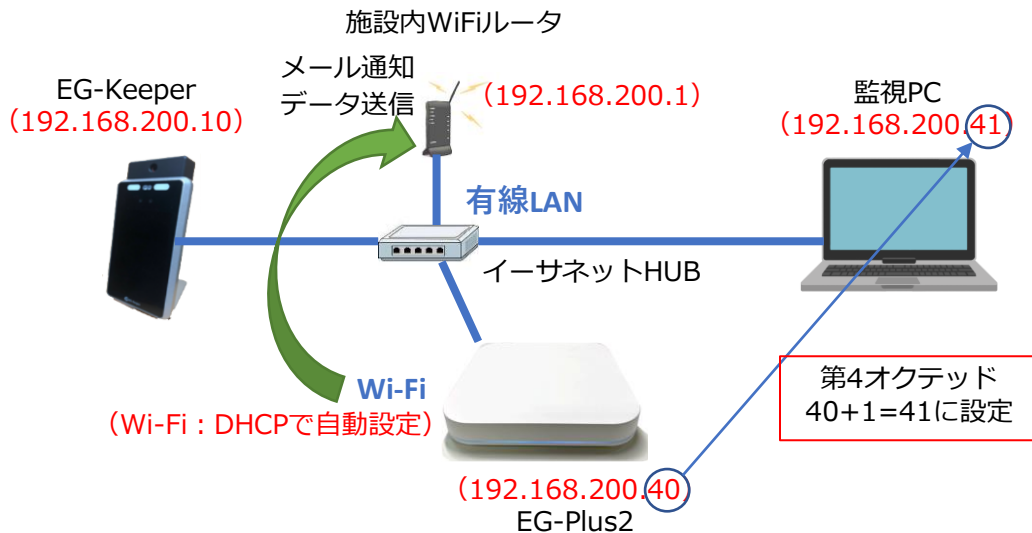


図2-3 ネットワーク接続図

No	機器	接続方法	DHCP設定	アドレス設定
1	監視PC	有線	無効	EG-Plus2 有線LAN IPアドレスの第4オクテッド+ 1 に設定する。 IPアドレス : 192.168.200.41 サブネットマスク : 255.255.255.0 ゲートウェイ : 192.168.200.1 DNS : 192.168.200.1
2	EG-Keeper	有線	無効	DHCP有効に設定すると電源ON毎にIPアドレスが変わる可能性があり、EG-Plus2側でその都度設定し直しが発生するため、アドレス固定にする。 初期値 : 192.168.200.20
3	EG-Plus2	有線 (LAN)	無効固定	初期値 : 192.168.200.40 サブネットマスク : 24 (255.255.255.0と同じ意味) ゲートウェイ : 192.168.200.1 DNS : 192.168.200.1
4		無線 (Wi-Fi)	有効 (初期値)	初期値のDHCP自動設定で取得する。

表2-3 IPアドレス等の設定



④ イーサネットHUBを使用しない場合（監視用PCを常時接続しない）

イーサネットHUBを使用しないで、EG-KeeperとEG-Plus2を直接接続して運用する構成をとる場合は、接続手順が必要となります。

最初に、図2-4の様に、EG-Plus2と監視PCを接続し、WEB設定ツールで必要な設定を行い、電源OFFします。IPアドレス等の設定は、表2-4に従ってください。

次に、図2-5の様に、有線LANをEG-Keeperに接続変更します。先にEG-Keeperの電源をONし、“システムが起動しました”の音声を確認後に、EG-Plus2を電源ONします。



図2-4 接続図その1



図2-5 接続図その2

No	機器	接続方法	DHCP設定	アドレス設定
1	監視PC	有線	無効	EG-Plus2 有線LAN IPアドレスの第4オクテッド+1 に設定する。 IPアドレス：192.168.1.51 サブネットマスク：255.255.255.0 ゲートウェイ：192.168.1.1
2	EG-Keeper	有線	有効（初期値）	ルータに接続されていないため以下に固定となる。 初期値：192.168.1.100
3	EG-Plus2	有線（LAN）	無効固定	初期値：192.168.1.50 サブネットマスク：24（255.255.255.0と同じ意味） ゲートウェイ：192.168.1.1
4		無線（Wi-Fi）	有効（初期値）	初期値のDHCP自動設定で取得する。

表2-4 IPアドレス等の設定

## 2.2. ネットワーク接続設定/PCのIPアドレスの設定

次に、EG-Plus2とPCが同一のネットワーク上で繋がる様に、PCのIPアドレスを設定します。PCのネットワーク接続からインターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)のプロパティを開き、IPアドレスを設定します。設定例として、ここでは192.168.1.30 IPアドレスとして設定しています。

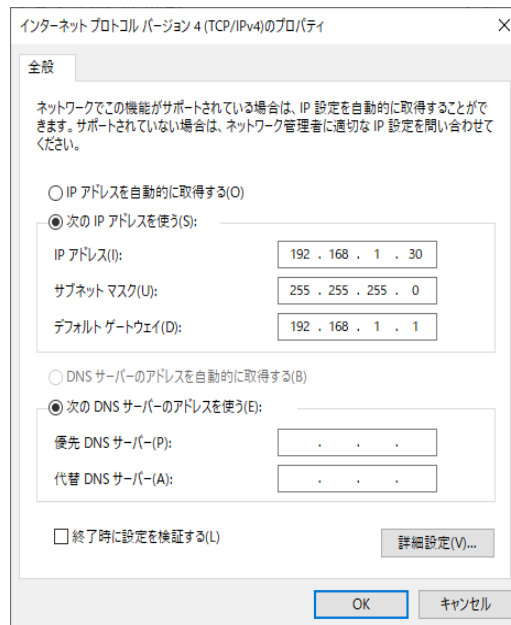


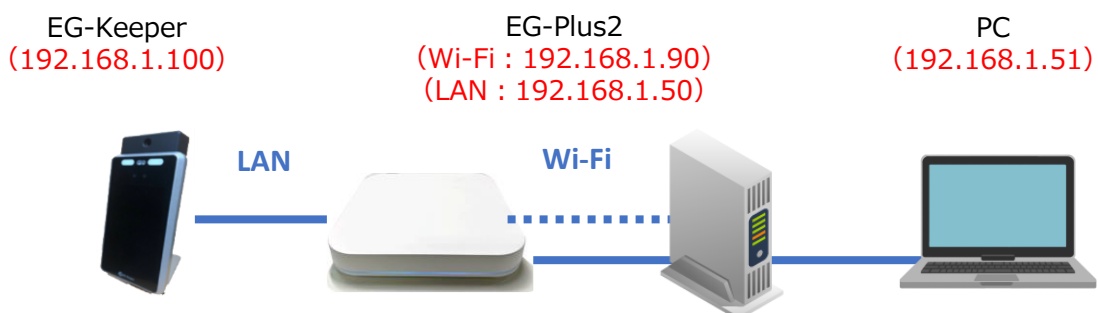
図2-3 PCのIPアドレスの設定画面



### EG-Plus2の有線LANとWi-FiのIPアドレスが同一ネットワークセグメント上になる場合のご注意点

EG-Plus2をWi-Fiで利用する場合、Wi-Fiの初期設定は一旦有線LANで接続して行いますが、Wi-Fiの接続確認時に、有線LANとWi-Fiを同時に接続して作業を行う場合等を想定していません。

同一ネットワークセグメント上でEG-Plus2の有線LAN・Wi-Fiをご利用の上、PCとEG-Plus2を有線で接続する場合、PCの有線LANのIPアドレスは、EG-Plus2の有線LANのIPアドレスの末尾1桁に1を加算したものを使用してください。  
例)EG-Plus2のIPアドレス：192.168.1.50/ PCのIPアドレス：192.168.1.51  
(※IPアドレスはIPv4を使用)



### 3. WEB設定ツールの説明

#### 3.1. WEB設定ツールの起動と終了

##### 3.1.1 起動手順

WEB設定ツールの起動方法を説明します。ここでは例として、ブラウザは、Google Chromeを使用します。

- 手順1 Chromeを起動し、図3-1に示す様に、アドレスバー入力欄に、EG-Plus2の初期値アドレス、<http://192.168.1.50/>と入力し、↵キー押下もしくは、読み込みを実行してください。接続した後、URLをブックマークに登録しておく、2回目以降の接続が容易になります。



図3-1 アドレスバー入力欄の表示

- 手順2 EG-Plus2に接続されるとブラウザに図3-2のログイン画面が表示され、下記に記載したユーザ名とパスワードを入力してログインをクリックします。  
なお、ユーザ名、パスワード変更はできません。



ユーザー名 : admin  
パスワード : admin123


図3-2 ログイン欄の表示


ログイン後、図3-3に示すダッシュボード画面が表示されます。  
画面右下の数値は、EG-Plus2のファームウェアバージョンを示します。  
赤丸の3か所は、すべての画面で常に表示されています。



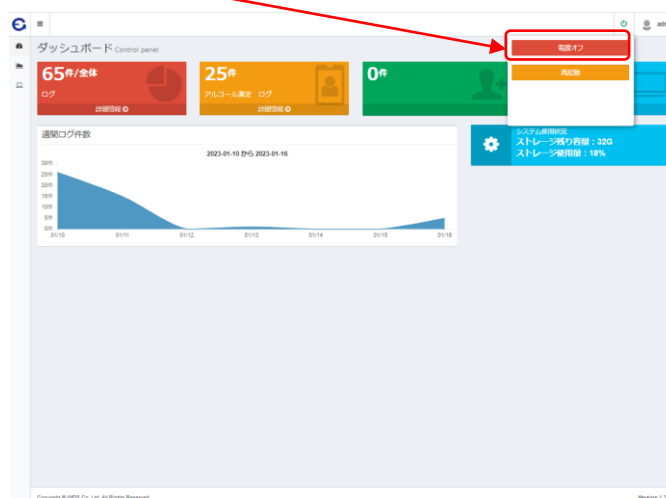
図3-3 WEB設定ツールのダッシュボード画面

### 3.1.2. 終了（電源OFF）手順

WEB設定ツールの右上の  ボタンをクリックし、表示されるタブから電源オフをクリックします。約30秒後、EG-Plus2のLEDが消灯し、電源がOFFになります。

手順は、以下の通りです。画面例は、ダッシュボード画面ですが、 ボタンは全て画面で表示されています。

手順1 下図に示す“電源オフ”のボタンをクリックします。

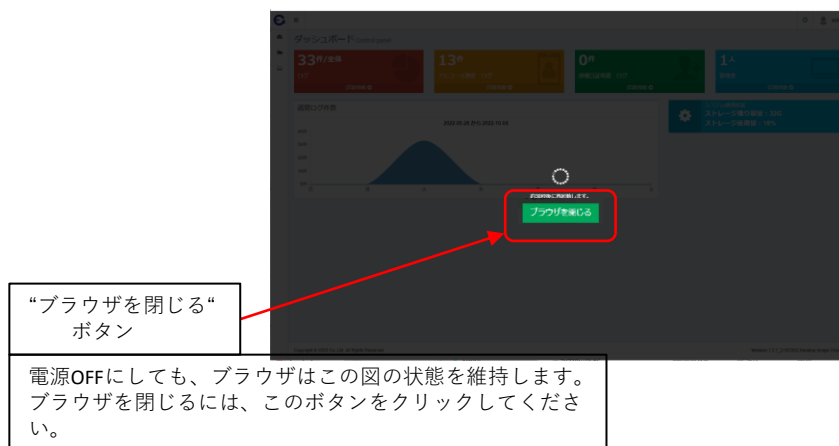


手順2 下図に示すポップアップ画面が表示されます。




“OK”をクリックします。EG-Plus2のLEDランプが消灯します。

手順3 下図の様に表示され、約30秒程度で、EG-Plus2の電源がOFFします。



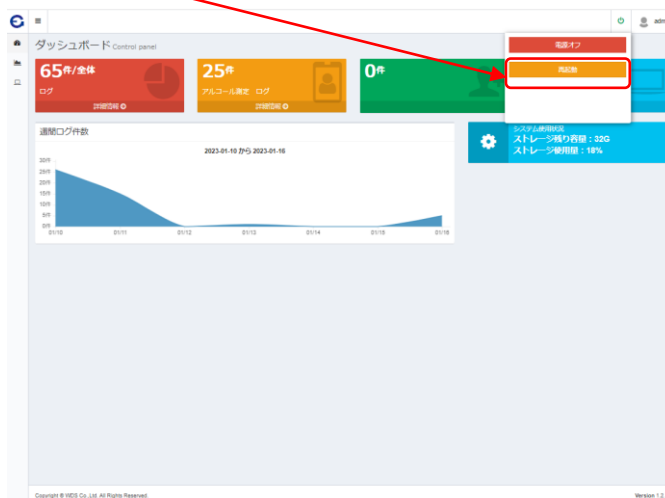
注、AC電源アダプターを抜く場合は、EG-Plus2のLEDランプが消灯していることを確認してから、行ってください。

### 3.1.3. 再起動手順

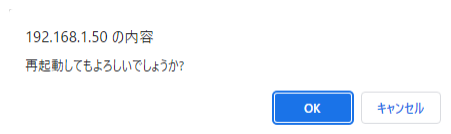
WEB設定画面の右上の  ボタンをクリックし、表示されるタブから再起動をクリックします。約30秒後、EG-Plus2のLEDが消灯し、電源がOFFになります。

手順は、以下の通りです。

手順1 下図に示す“再起動”のボタンをクリックします。

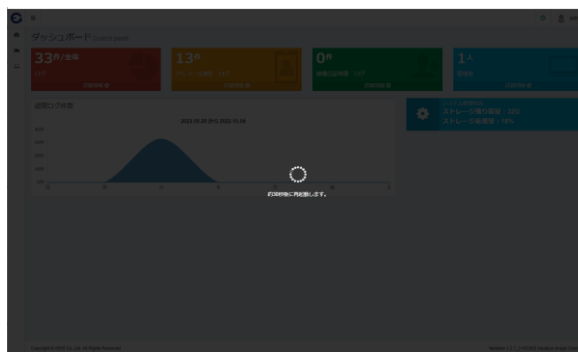


手順2 下図に示すポップアップ画面が表示されます。



“OK”をクリックします。

手順3 下図の様に表示され、約60秒程度で、ダッシュボード画面が表示され、再起動は完了します。




### 3.1.4. EG-Plus2への再ログイン

**監視用PCとEG-Plus2間のWEB設定ツール間のセッションは、ログイン後、約24時間で切断され、その後の再ログインまで、WEB設定ツールの変更が保存できなくなり、設定通りに動作しないというトラブルの原因となります。**

**なお、セッションが切れてもEG-Plus2の測定などの諸動作に影響はありません。**

よって、その状況を避けるためにも、以下の操作行ってください。

PCを常時接続し、WEB設定ツールを開いている場合は、毎朝1回、 ボタンから ログアウトし、再度ログインするか、ブラウザを一度閉じて、再度開いてからEG-Plus2に接続してログインしてください。

WEB設定ツールを操作する前に、一度ログやダッシュボード画面に切り替えることでも、セッション切れを確認できます。

画面切り替え時に、ログイン画面が表示されれば、ログインし、WEB設定ツールに戻って設定変更を行ってください。ログイン画面の表示が無ければ、そのままWEB設定ツールに戻って設定変更を行ってください。

### 3.2. ダッシュボード画面

EG-Plus2にログインまたは画面選択タブでダッシュボードをクリックすると下図のダッシュボード画面が表示されます。



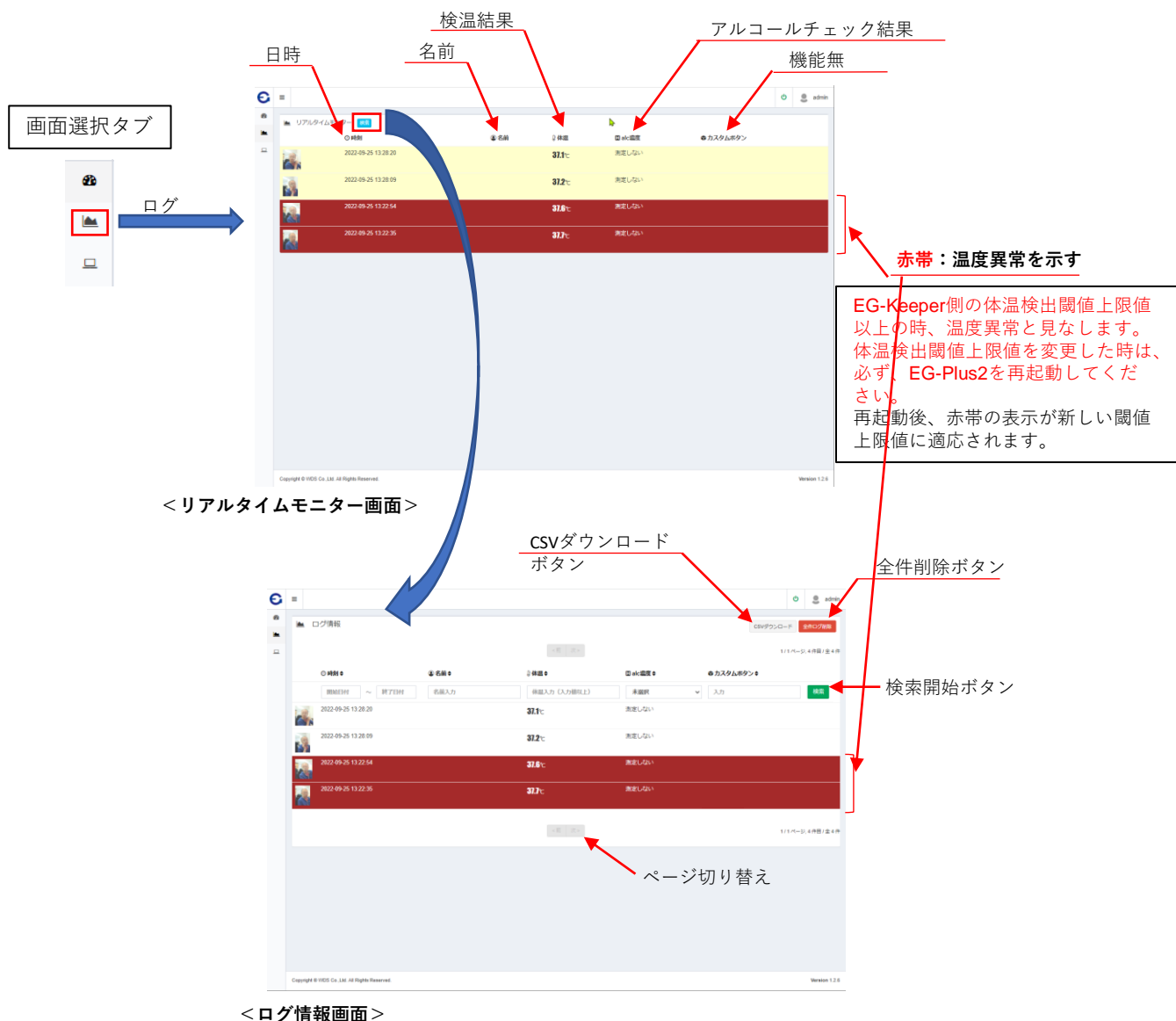
以下、ダッシュボード画面の説明です。

- ・ **ログ全件数** : ログの全データの件数を表示します。“詳細情報”をクリックして、ログ画面に移行できます。
- ・ **アルコール測定ログ件数** : アルコール測定したログの件数を表示します。“詳細情報”をクリックして、アルコール測定した結果のみに絞ったログ画面に移行できます。
- ・ **管理者数** : 登録した管理者数を表示します。“詳細情報”をクリックして、管理者情報画面に移行できます。
- ・ **週間ログ件数** : 週間のログ件数を示すグラフです。1週間を示す日付とグラフの曜日は一致していません。  
日付の期間は、最新のログの日付から1週間前までを示します。  
 単位は、件です。
- ・ **システム使用状況** : OS、プログラム格納ストレージ容量の使用状況  
 ストレージ残り容量 単位 Gバイト  
 ストレージ使用量 単位 %

### 3.3. ログ画面

画面選択タブでログをクリックすると下図リアルタイムモニター画面が表示されます。

さらに **検索** ボタンをクリックすると、ログ情報画面が表示され、ログ検索が可能になります。



ログ検索条件は以下の通りです。

- ・時刻：表示されるカレンダーから日付を選択する。
- ・名前：入力した文字列から検索する。
- ・温度：入力値以上を検索する。
- ・alc濃度：未選択、測定あり、測定OK、測定NG、測定エラー、測定しないの項目から選択する。  
**(アルコール測定NGは、0.01mg/L以上固定です)**
- ・カスタムボタン：本バージョンではサポートしていません **(設定禁止)**

の組み合わせを設定後、検索開始ボタンをクリックすることで絞り込み検索できます。

注. ログの個別削除はできません。

CSVファイルの説明は、9章“CSVファイルの説明”をご覧ください。



### 3.4. 詳細設定

#### ご注意

ブラウザは、キャッシュにより以前のページを記憶しています。よって、詳細設定画面を表示した際に  
 予期していない設定表示をする場合があります、そのまま設定変更すると思ってもない動作をする場合があります。

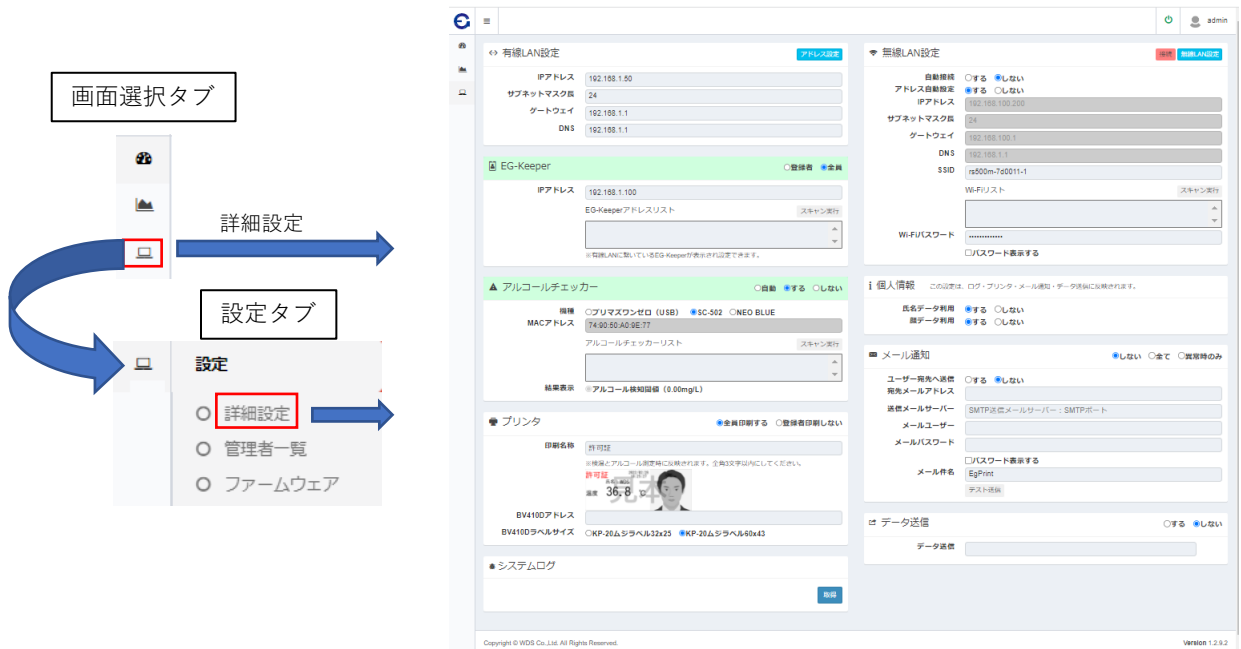
この様な時は、Windows10 PCをご使用の場合は、

## [Shift] + [F5] キー

を押してください。キャッシュを無視して、再読み込みを実行し、正しい設定かをご確認ください。

画面選択タブで設定ボタンをクリックすると、下図、詳細設定画面が表示されます。

また、画面選択タブにカーソルを合わせ、設定タブを開き、カーソルを詳細設定の上に移しクリック  
 することでも、詳細設定画面を表示できます。

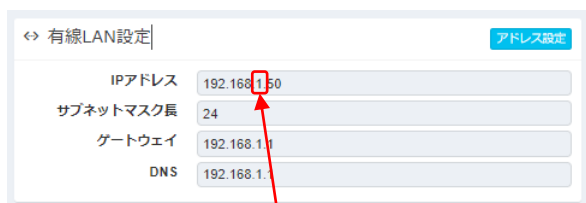


設定項目には、下記9項目あります。

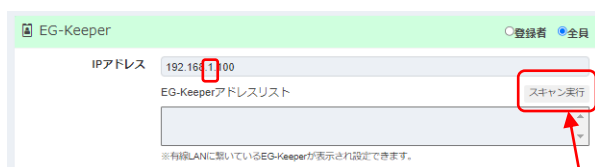
- ・有線LAN設定
- ・無線LAN設定
- ・EG-Keeper
- ・個人情報
- ・アルコールチェッカー
- ・メール通知
- ・プリンタ
- ・データ送信
- ・システムログ

**なお、チェックボタンは、クリックして青色に変わった時点で保存されます。**  
**設定値は、入力後、他の欄やブラウザ表面の任意の箇所をクリックした時点で保存されます。**

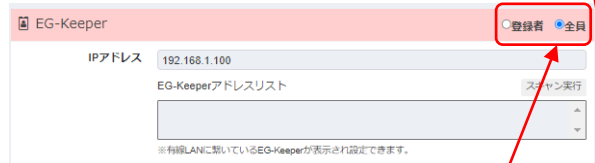
## 各設定項目の説明



EG-KeeperとEG-Plus2は、必ず、同じセグメントのアドレスを設定してください。



### EG-Keeper接続状態



### EG-Keeper未接続状態

#### <EG-Plus2動作対象者>

- ・登録者：EG-Keeper顔登録者のみ動作
- ・全員：顔検知した全員

動作とは、EG-Plus2でサポートする全機能を指します。

注. 青帯、赤帯表示は、目安であり、リアルタイムに変化しません。接続確認が必要な時は、スキャンを実行し、EG-KeeperのIPアドレスを検索してください。

#### <有線LAN設定>

EG-Plus2の有線LANの

- ・IPアドレス、
- ・サブネットマスク
- ・ゲートウェイ
- ・DNS

のアドレスを設定します。左図のアドレスは、出荷時の初期値です。IPアドレス値変更後は、アドレス設定ボタンをクリックしてください。その後、EG-Plus2を再起動してください。

##### ・IPアドレスの設定

以下のプライベートIPアドレスの範囲で設定できます。

- クラスA 10.0.0.0 ~ 10.255.255.255
- クラスB 172.16.0.0 ~ 172.31.255.255
- クラスC 192.168.0.0 ~ 192.168.255.255

##### ・サブネットマスクの設定

24 (255.255.255.0)

##### ・ゲートウェイの設定

IPアドレスの第4オクテッドを1にするか、システム管理者にご確認ください。

##### ・DNSの設定

IPアドレスの第4オクテッドを1にするか、システム管理者にご確認ください。有線LANはインターネット接続しません。

#### <EG-Keeper設定>

EG-Keeperの有線LANの

- ・IPアドレス

のアドレスを設定します。192.168.1.100は、出荷時の初期値です。

もし、EG-Keeperのアドレスを変更した場合は、ここで、その新しいEG-KeeperのIPアドレスを再設定してください。

- ・直接、IPアドレスを変更
- ・スキャン実行でEG-KeeperをリストUPし、アドレス設定する。

IPアドレス欄を空欄でスキャンするとEG-Plus2のIPアドレスのセグメントと同じネットワークのEG-KeeperをリストUPします。IPアドレスが入力されていると、その同じセグメントのEG-KeeperをリストUPします。

のどちらかの方法で変更できます。

設定欄の色で、EG-Keeper接続状況を表しています。

- ・青：EG-Keeper接続状態
- ・赤：EG-Keeper未接続状態

未接続時は、ネットワーク環境を再確認の上、スキャン実行で、IPアドレスを再設定するか、EG-Plus2を再起動してください。

注. EG-Plus2を起動してから、EG-Keeperを接続すると、未接続状態のままになります。



本バージョンでは、測定結果が0.00mg/Lの時  
のみ、測定OKの表示を出しています。

## <アルコールチェッカー>

### アルコールチェック動作設定

- ・しない：検温のみ行う
- ・する：検温+アルコールチェックを行う
- ・自動：4.4章“アルコールチェックの自動判別”をご覧ください。

### アルコールチェッカー機種設定

以下、3機種サポートしています。

- ・プリマズワンZERO（WDS社製）
- ・SC-502（中央自動車工業社製）
- ・ネオブルー（中央自動車工業社製）

### アルコールチェッカースキャン

Bluetooth I/F機器のSC-502、ネオブルーを最初に接続する時に、MACアドレスを設定します。

アルコールチェッカーの操作方法については、4章“アルコールチェックの方法”をご覧ください。



## <プリンター>

プリンターの設定を行います。

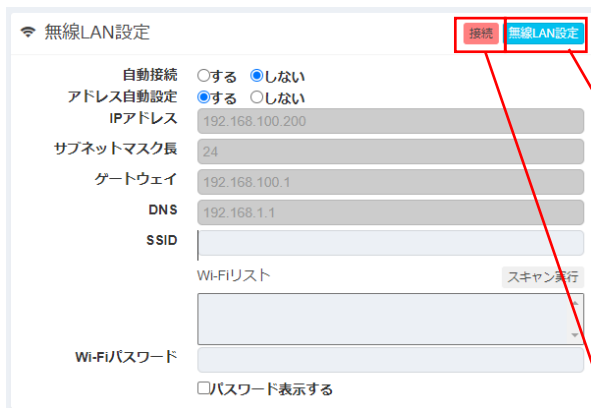
下記、2機種のラベルプリンタをサポートしています。

- ・QL-800（ブラザー工業社製）
- ・BV410D（東芝テック社製）

出荷時、BV410DのIPアドレスは設定されていないため  
QL-800が自動的に選択されています。QL-800をUSB接続  
し、電源ONされていれば、印刷可能状態にあります。

BV410Dを使用時は、BV410Dアドレスに固定IPアドレス  
を設定してください。

詳細は、6章“ラベル・プリンタ”をご参照ください。



### <無線LAN>

無線LAN (Wi-Fi) を設定します。

**自動接続** : EG-Plus2起動時に、自動でWi-Fiに接続するかどうかを設定します。

**アドレス自動接続** : Wi-FiルータのDHCP機能を使用するかどうかを設定します。“する”で、DHCP接続します。“しない”の場合は、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSの値を直接入力し、最後に

**無線LAN設定**のボタンをクリックしてください。

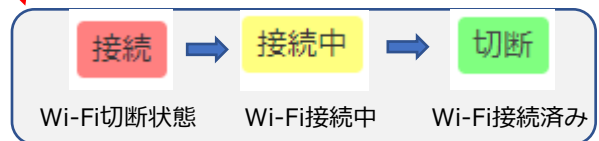
設定が終われば、**接続** ボタンをクリックします。

すべての設定において、下図の様に接続状況を確認できます。

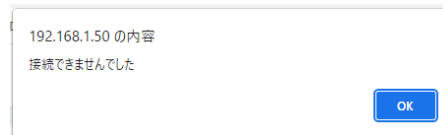
**SSID**: スキャン実行し、リストアップされた中からSSIDをクリックして、設定します。

**Wi-Fiパスワード** : 選択したSSIDのパスワードを入力します。パスワード表示するをチェックすると入力文字を表示できます。。

### Wi-Fi接続状態のステップ



接続できない場合は、右図ポップアップ表示がされるので、再度、設定値をお確かめの上、再接続してください。



### <個人情報>

#### ・氏名データ、顔データ利用

印刷、ログ、メール及びデータ送信のデータに、氏名、顔データを入れるか入れないを設定します。

“する”：データを入れる

“しない”：データを入れない

### i 個人情報

氏名データ利用 する しない  
 顔データ利用 する しない  
 ユーザー宛先へ送信 する しない

#### ・ユーザー宛先へ送信

メール通知先のアドレスを指定します。

“する”：EG-Keeperの顔登録時に設定されているメールアドレスに通知します。

“しない”：メール通知の宛先メールアドレスに設定されているアドレスに通知します。

### <メール通知>

メール通知には、あらかじめ、Wi-Fi設定が必要です。

送信データ内容は、7.1章を参照ください。

#### ・メール通知の設定

“しない”：メール通知をしません。

“すべて”：すべてのログをメール通知します。

“異常時のみ”：検温値が閾値以上及びアルコール検知時、メール通知します

(閾値は、EG-Keeperの体温検出閾値上限値です)

#### ・メール件名

メールの件名を設定します。初期値は、“EgPrint”で、変更可能です。

温度異常、アルコール検知すると、メール件名の後ろに、(異常値があります)が自動的に挿入されます。

#### ・テスト送信

テスト送信ボタンをクリックするとテストメールを送信します。送信できない場合は、ポップアップ画面で送信エラーが表示されます。(19頁【テストメール送信エラー】参照) 送信されるメール本文は、以下の通りです。

#### “EG-Plus2 メールテスト”

#### [メールサーバーの設定]

メールアカウントを取得した後、以下の設定を行ってください。

#### ・宛先メールアドレス

ユーザー宛先へ送信“しない”場合は、任意のアドレスを設定できます。

ユーザー宛先へ送信“する”の場合、入力不可になり、EG-Keeperに登録されたメールアドレスに送信されます。

#### ・送信メールサーバー (コロンの後ろの数字は、SMTPポート番号を示す)

初期設定：smtp.lolipop.jp:587

#### ・メールユーザー (ユーザー名を入力する)

初期設定：alcohol-alert@eg-keeper.jp

#### ・メールパスワード (パスワードを入力する)

初期設定：Alcohol-alert0

右のメールアカウントの初期設定値は、一時的なテスト用として、実際にご使用になれます。但し、通知先のメールアドレスはお客様でご用意ください。

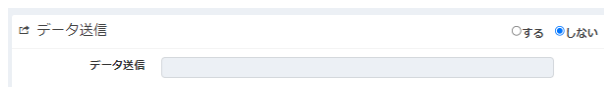
注、メール設定が正しいかは、テスト送信にて、必ず確認してください。

### 【テストメール送信エラー】

テストメール送信ができなかった場合は、右図ポップアップ表示がされますので、再度、設定値をお確かめの上、テストメール送信してください。

192.168.1.50 の内容  
送信できませんでした

OK



### <データ送信>

メール通知には、あらかじめ、Wi-Fi設定が必要です。

ログデータをJSON形式で送信します。

データ送信欄には、送信先サーバーのアドレスを設定します。

“する”：送信する

“しない”：送信しない

送信データ内容は、7.2章を参照ください。



Wi-Fi異常などにより、データ送信できなかった場合、測定の最後に、左記の様な画面がEG-Keeper側に表示されます。

この送信エラー時は、ログが残らないため、再度、測定を行ってください。

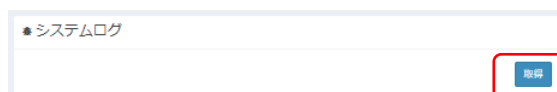
### <データ送信エラー画面>

注. メール通知、データ送信をご使用の場合は、Wi-Fi接続によりインターネットに接続する必要があります。

### <システムログ>

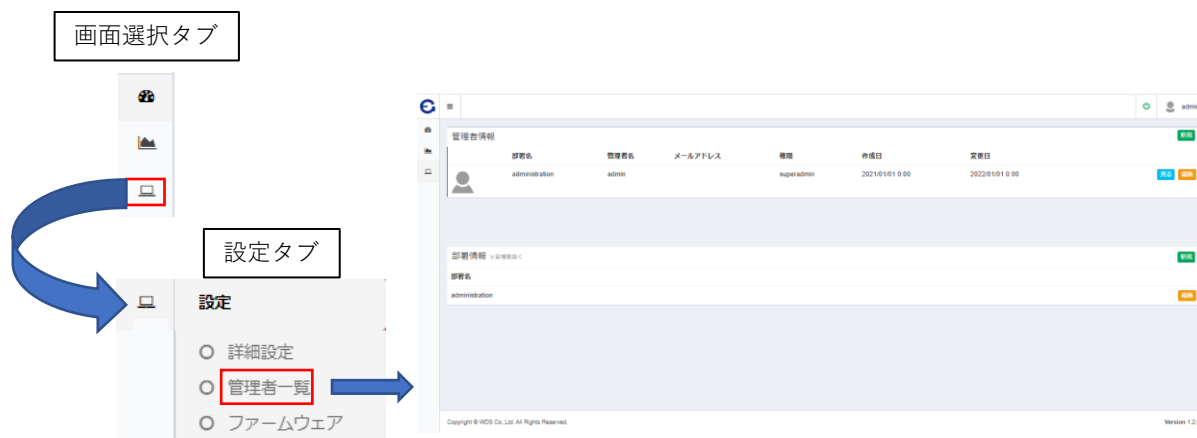
取得ボタンをクリックした時刻からさかのぼって、1万ステップのシステムログを保存します。

詳細は、7.2章を参照ください。



### 3.4. 管理者情報

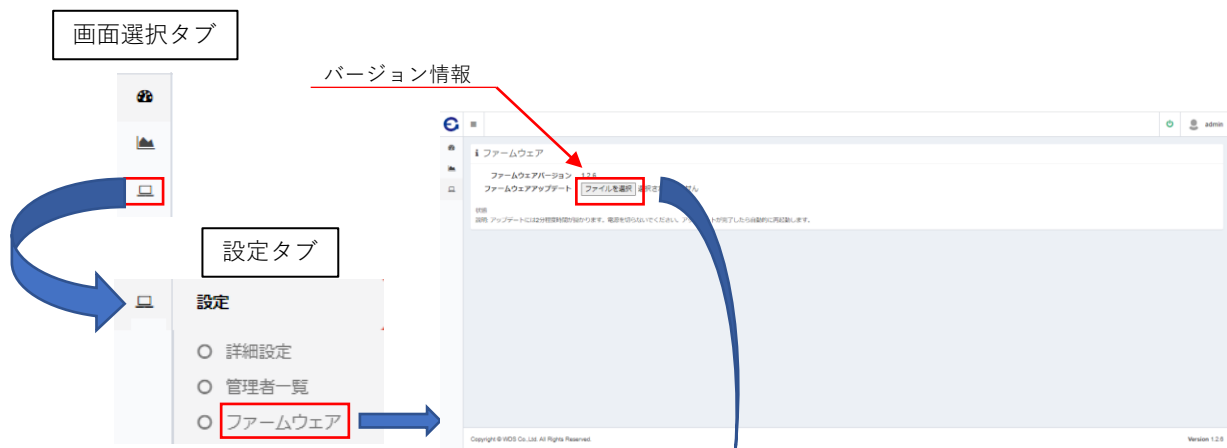
画面選択タブにカーソルを合わせ、設定タブを開き、カーソルを管理者一覧の上に移動しクリックすることで、管理者情報画面を表示できます。



注. 監視用PCの利用者が一人（又は、共有する）の場合は、初期設定の管理者のままでご利用ください。  
その際は、本画面にて追加変更の設定は、必要ありません。

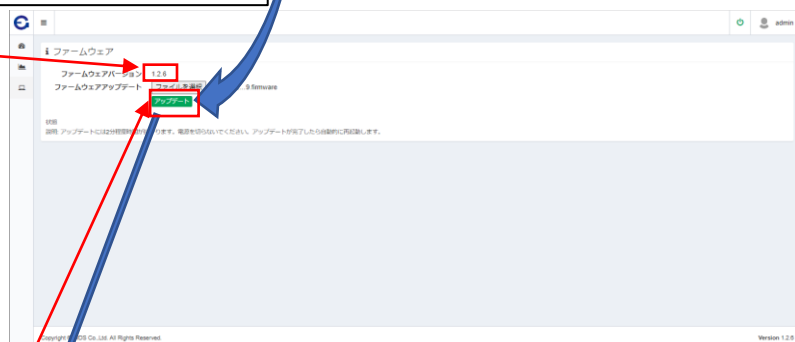
### 3.5. ファームウェア

画面選択タブにカーソルを合わせ、設定タブを開き、カーソルをファームウェアの上に移動しクリックすることで、ファームウェア画面を表示できます。

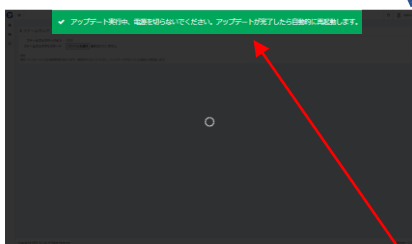


“ファイル選択”をクリックし、表示されるフォルダー画面よりファームウェアを選択すると、**アップデート** ボタンが表示されます。

現在のファームウェアバージョン



**アップデート** ボタンをクリックすると、約20秒程で、下記更新中の画面に変わります。

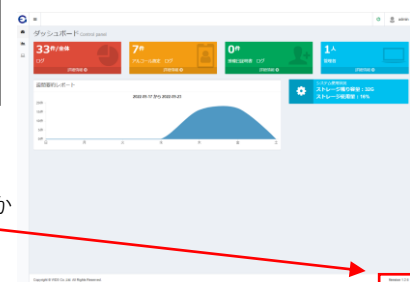


更新中画面

約90秒程度経過後、一度、LAN接続が切断され、その後、EG-Plus2が自動的に再起動します。

この時、ログイン画面は表示しません。ファームウェアのバージョンがUPしたか確認してください。

このメッセージは、20秒程で消えます。



ダッシュボード画面

注. “更新中画面”に変わらない場合は、再度、ファイル選択から実行してください。  
自動的に、再起動しない場合は、3.1.1章の起動手順を実行してください。



## 4. アルコールチェックの方法

### 4.1. プリマズワンZERO



同梱スペーサを必ず吹き込み口に挿入する

ストロー径：6~6.4mm



吹きかけ式アダプター（別売り オプション）  
ストロー無で、息を吹き込むことが可能なアダプターです。  
挿入口にねじ込んで使用します。

プリマズワン外観

#### <ストローの口径についての注意事項>

6mm未満の細い口径のストローをご使用されると息がセンサーまで届かない場合がありますので、ご使用されないようご注意ください。

#### 4.1.1.1. プリマズワンの事前準備

手順1 USBケーブルでの接続。

プリマズワンは、USB2.0 I/F接続です。同梱のType-A to micro-B USBケーブルを使用して、図1-1に示す、EG-Plus2のUSB2.0の2か所のコネクタ口(Type-A)のどちらかに接続してください。その際、USBハブを介さず、直接、EG-Plus2とプリマズワンを接続してください。ケーブル接続時、下図の通りコネクタの向きに注意してください。



注、コネクタに上下左右に無理な力をかけ続けると、破損する恐れがあります。

また、コネクタの向きを確認し、水平に抜き差ししてください。

手順2 EG-Plus2の電源ON

EG-Plus2の電源をONします。

プリマズワンが、ピッという音の後、下図の通り緑色LEDが1個点灯状態になれば準備完了です。

LEDは、ラベル添付側に搭載されています。



手順3 機種を“プリマズワン”に設定します。

#### 4.1.2. プリマズワンによる測定手順

測定手順について説明します。

あらかじめ、アルコールチェック“する”または“自動”に、“機種を”プリマズワン”に設定しておきます。

手順1 ストローを咥えて、EG-Keeperのモニター正面から、約70cmの位置に立ちます。  
EG-Keeperが、顔認証・検温を開始しします。  
この瞬間から<測定スタート待ち>となり、測定結果が表示されるまで、顔の位置を大きく動かさないでください。（なりすまし防止対策）

#### 手順2 アルコール未検出、検出時の正常時の測定の流れ

息の吹き込む時は、強く吹き込まず、ゆっくりと吹いてください。



注. アルコール検出時は、センサー部の残気ガスの影響を無くするため、次の測定まで、アルコール値により以下の時間を空けてください。NG画面は1分で消え、次の測定が可能になるため、測定値が、0.1mg/L以上の時は、以下の所定の時間を空けてから次の測定を行ってください。

- ・ 0.01～0.1 mg/L、1分以上
- ・ 0.1～0.5 mg/L、2分以上
- ・ 0.5 mg/L以上、3分以上

手順3 息の吹き込みが足りず、エラーとなったときの流れ



注1. 本STOP!画面がでた場合は、再スタートまで、落ち着いて息を整えてください。

注2. 吹き込み開始、再吹き込み待ちの画面表示期間中のみ測定が可能になります。間違えてそれ以外の期間で吹いても動作上問題はありません。しかし、その後の吹き込みを途中で止める動作が、吹き込み開始のタイミングに重なったりすると、息途切れと判断されます。よって、その様な際は、再吹き込み画面の表示を待ち、落ち着いて再吹き込みしてください。

## 4.2. SC-502 ソシアックNEO



### <SC-502をご使用時の注意事項>

Bluetooth機器は、2.4GHz帯のWi-Fiと電波干渉を起こしやすいため、接続できない状況が発生しやすくなります。

よって、EG-Plus2のWi-Fiは、5GHz帯のSSIDと接続することを推奨いたします。

### 4.2.1. SC-502の事前準備

新規にSC-502を使用する場合は、SC-502のBluetooth アドレスを EG-Plus2に登録する必要があります。（別のSC-502をご利用いただく場合も、再度本設定を行う必要があります。）それにより、当該SC-502とEG-Plus2は、測定期間中、1対1で、Bluetooth 接続されます。

2組以上のSC-502と EG-Plus2 のセットをご使用される場合、本Bluetooth アドレスの登録は、必ず、1組ずつ行ってください。Bluetooth アドレスを取り違える恐れがあります。

以下に、手順を説明します。

なお、EG-Plus2の初回起動時は、アルコールチェッカーBOX 内に出荷検査時に登録したBluetooth アドレスが表示されますが、必ず、お客様がご使用するSC-502を使用して、本Bluetooth アドレスの設定を行ってください。

手順1 WEB設定ツールにて、アルコールチェック“しない”、機種“SC-502”に設定します。

手順2 アルコール検知器 本体操作 取扱説明書の13ページに従い、mode2の設定、BLEon の設定を行います。



BLEon、mode2 の設定は、変更せず、そのまま保持してください。

続けて、電源/設定ボタンを押してID 表示画面に進みます。ID 番号の設定は必要ありません。

また、この時、Bluetoothマークは、Don't careです。

手順3 ID 表示画面にした後、WEB設定ツールの“スキャン実行”ボタンをクリックします。

手順4 スキャンが成功すれば、アルコールチェッカーリストBOX内に、Bluetooth アドレスが表示されます。

アルコールチェッカーリスト BOX 内に表示された、Bluetooth アドレスをクリックすると、MACアドレスBOXに反映され、EG-Plus2 に登録されます。

手順5 右図の様に“電源ボタンを3回押してください”の画像が表示されるので、4.4.2章“SC-502による測定方法”に従い、アルコール測定を行ってください。



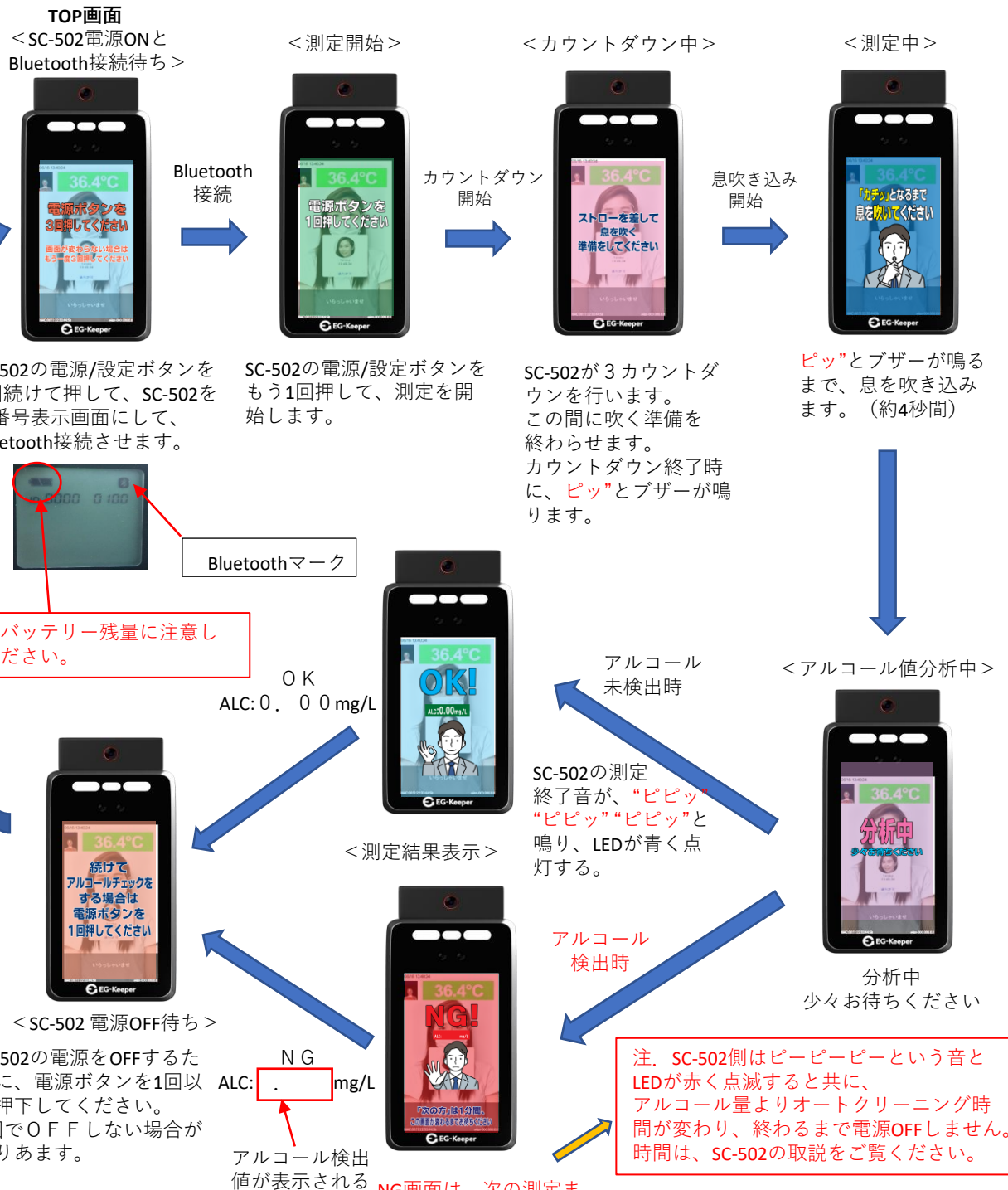
正常にスキャンが行われなかった場合は、ポップアップ画面でエラー表示されますので、再度実行してください。

#### 4.2.2. SC-502による測定手順

測定手順について説明します。

あらかじめ、アルコールチェック“する”、機種を“SC-502”に設定しておきます。

手順1 カウントダウンまでには、ストローを咥えて、EG-Keeperのモニター正面から、約70cmの位置に立ちます。EG-Keeperが、顔認証・検温を開始しします。この瞬間から、測定結果が表示されるまで、顔の位置を大きく動かさないでください。(なりすまし防止対策)



## 手順2 息の吹き込みが足りず、エラーとなったときの流れ

説明は、カウントダウンの表示から始めます。

<カウントダウン中>



SC-502が3カウントダウンを行います。この間に吹く準備を終わらせます。カウントダウン終了時に、「ピッ」とブザーが鳴ります。

<測定中>



カチッと音がするまでもう一度息を吹いてください

吹き込み失敗

<STOP>



SC-502はピーピー音と共に、LEDが赤く点滅した後、数秒で電源OFFします。

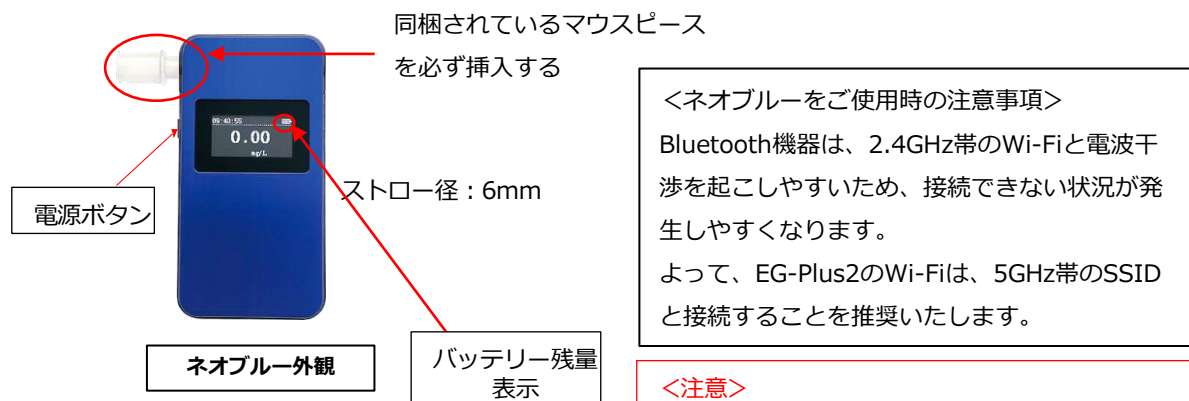
吹き込み失敗時、ログは残りません。

<Bluetooth接続待ち>



手順1のBluetooth接続から再開します。

### 4.3. ネオブルー (NEO BLUE)



<注意>  
ネオブルーを充電しながらご使用は、バッテリーへの悪影響や誤動作につながる恐れがあるため、禁止とさせていただきます。(中央自動車工業社より)

#### 4.3.1. ネオブルーの事前準備

新規にネオブルーを使用する場合は、ネオブルーのBluetooth アドレスを EG-Plus2に登録する必要があります。(別のネオブルーをご利用いただく場合も、再度本設定を行う必要があります。) それにより、当該ネオブルーとEG-Plus2 は、測定期間中、1 対 1 で、Bluetooth 接続されます。

2組以上のネオブルーと EG-Plus2 のセットをご使用される場合、本Bluetooth アドレスの登録は、必ず、1組ずつ行ってください。Bluetooth アドレスを取り違える恐れがあります。

以下に、手順を説明します。

なお、EG-Plus2の初回起動時は、アルコールチェッカBOX 内に出荷検査時に登録したBluetooth アドレスが表示されますが、必ず、お客様のネオブルーで、本Bluetooth アドレスの設定を行ってください。

手順1 WEB設定ツールのアルコールチェック“しないに、機種を“NEO BLUE”に設定します。

手順2 ネオブルーの電源ボタンを2秒以上長押し、電源ONします。

手順3 “スキャン実行”ボタンをクリックします。

手順4 スキャンが成功すれば、アルコールチェッカリストBOX内に、Bluetooth アドレスが表示され、そのアドレスをクリックすると、MACアドレスBOXに反映され、EG-Plus2 に登録されます。

手順5 一旦、ネオブルーの電源をOFFしてください。

手順6 WEB設定ツールのアルコールチェック“する”または“自動”に設定してください。EG-Keeperに“電源ボタンを2秒間押してください”と表示されますので、4.3.2章“ネオブルーの測定手順”に従い、測定を開始してください。



正常にスキャンが行われなかった場合は、ポップアップ画面でエラー表示されますので、再度実行してください。

#### <ネオブルーのバッテリー残量についての注意事項>

バッテリー残が少なくなると、電源ONはできても、測定中に電源OFFする場合があります。

また、測定中に、電源OFFになると、EG-Keeper側の表示が戻るまでに時間を要します。

1台のネオブルーを複数人で使用する場合は、トラブルを回避するためにも、できるかぎり毎日充電することをお勧めします。ネオブルーの電池の使用目安は、取扱説明書から以下の通りです。

- ・満充電で6時間 (約700回測定可能)

注. アルコールチェッカーを他の機種に切り替える時は、必ず、切り替える前に、ネオブルーの電源をOFFしてください。

### 4.3.2. ネオブルーによる測定手順

測定手順について説明します。

あらかじめ、アルコールチェック“する”、機種“をネオブルー”に設定しておきます。

手順1 “電源ボタンを2秒間長押ししてください”が表示されています。  
下記の測定手順画面は、ここから始まります。

**ネオブルーは、測定毎に電源ON、完了後、電源OFFしてください。**

注. “測定中”の画面から急に“電源ON待ち”の画面に戻る時があります。その際は、ネオブルーのバッテリー残量をチェックしてください。





## 手順2 息の吹き込みが足りず、エラーとなったときの流れ

説明は、Bluetooth接続接続できた状態から始めます。



#### 4.4. アルコールチェックの自動判別

アルコールチェックの自動判別とは、アルコールチェックを実行“する”か“しない”かという設定をEG-Keeperに顔登録した人のみ可能とするモードです。顔登録していない人は、必ずアルコールチェックをしません。ゲストやアルコールチェック対象外の社員は、アルコールチェック“しない”という設定が可能になります。

EG-Keeper側の設定を説明します。

EG-Keeperとの接続や顔登録の方法は、EG-Keeperのマニュアルをご覧ください。

手順1 EG-KeeperとPCを接続し、WEB設定画面を開きます。

手順2 メニューバーからユーザー設定画面を開きます。

ユーザーID	名前	画像	性別	年齢	証明書の...	証明番号	カード番号	電話	メールアドレス	住所	操作
ABC1234567890	三田シケンシ		男性	40	身分証					alc=1	✕ ✕ 警告

手順3 アルコールチェックをさせたい人は、住所欄に、**alc=1**を設定してください。アルコールチェックをさせたくない人は、alc=0とするか、住所欄を空欄にしてください。なお、顔登録してない人は、必ずアルコールチェックを実施せず、検温のみとなります。

EG-Plus2側の設定を説明します。

手順4 WEB設定画面のアルコールチェックの欄で“自動”をチェックします。機種は、3種類のうちどれでも設定可能です。

▲ アルコールチェッカー

自動
  する
  しない

機種  プリマズワンゼロ (USB)  SC-502  NEO BLUE

結果表示  アルコール検知閾値 (0.00mg/L)

手順5 以上で、アルコール自動測定の前準備ができました。

alc=1設定の登録者は、各アルコールチェッカーの測定方法の説明に従って測定を行えます。

alc=0設定の登録者は、検温のみとなります。SC-502とネオブルーについては、各測定方法の説明にありますTOP画面が表示されたままとなりますが、そのまま検温は可能です。

#### 4.5. アルコール測定結果のログが残らない時

測定は手順通り進んでいたが、最後にアルコール測定結果が表示されない（ログが残らない）場合、以下が考えられます。

- ・顔の位置・距離・向きなどの要因で、連続して同じ顔の認識に失敗した。  
(EG-Keeperの登録データとの一致とは関係ありません。)
- ・データ送信“する”の時、送信に失敗した。

このような時は、再度、最初からアルコールチェックを行ってください。

### 5. カスタムボタン

本バージョンでは、サポートしていません。

## 6. ラベルプリンタ

### 【検温のみの時の注意事項】

**検温のみ実施される場合は、約8秒以内にEG-Keeperの前から退去（パネルから顔を外す）してください。同一人物が、続けて、印刷される場合があります。**

### 6.1. QL-800



QL-800外観

項目	
プリンタ品名	QL-800 感熱ラベルプリンタ
メーカー	ブラザー工業
インターフェース	USB2.0 I/F
使用ラベル型番	DK-1209（ロールガイドは含まない）
ラベル仕様	DKラベル(小) サイズ：幅 62mmx長さ 29mm 800枚/ロール 色：黒

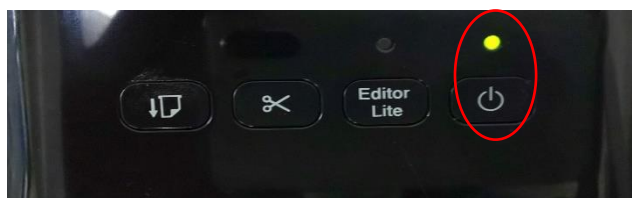
#### 6.1.1. 事前準備

手順1 USBケーブルでの接続。

QL-800は、USB2.0 I/F接続です。QL800に同梱のType-A to Type-B USBケーブルを使用して、図1-1に示す、EG-Plus2のUSB2.0のか所のコネクタ口(Type-A)のどちらかに接続してください。但し、カスタムボタンを併用している場合は、USB2.0ハブをご用意して頂き、ハブ経由で接続してください。

手順2 QL-800の準備。

QL-800の取説に従い、ロール紙のセットを行い電源をONします。下図の赤丸の位置のLEDのみが緑色に点灯すれば、準備完了です。それ以外のLEDが点灯したり、点滅したりしていれば、QL-800の取説を参考にエラーを取り除いてください。



**QL-800の正常に電源ONして、USBケーブルが接続されていれば、常に動作可能状態にあります。**  
**ログに残るデータであれば印刷され、ログに残らないデータは印刷されません。**

## 6.1.2. 印刷設定と印刷例

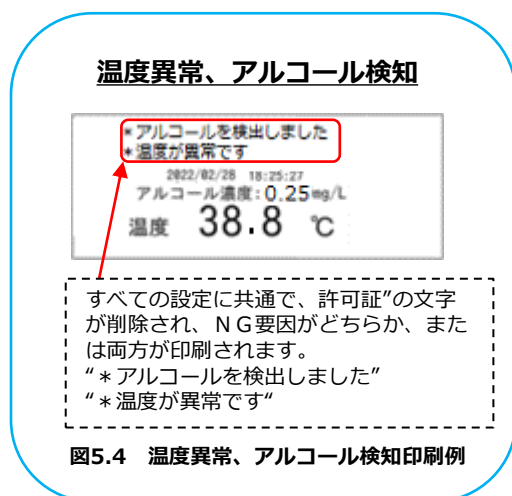
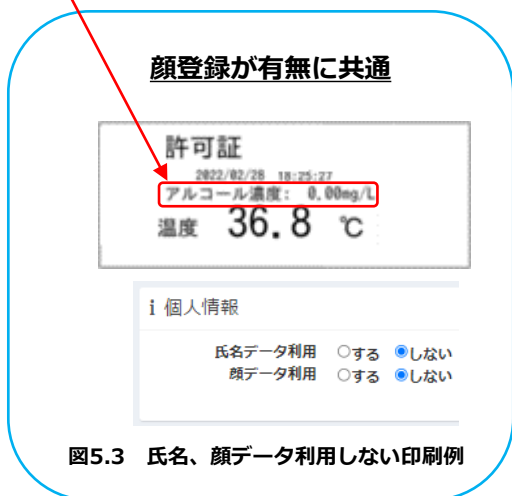
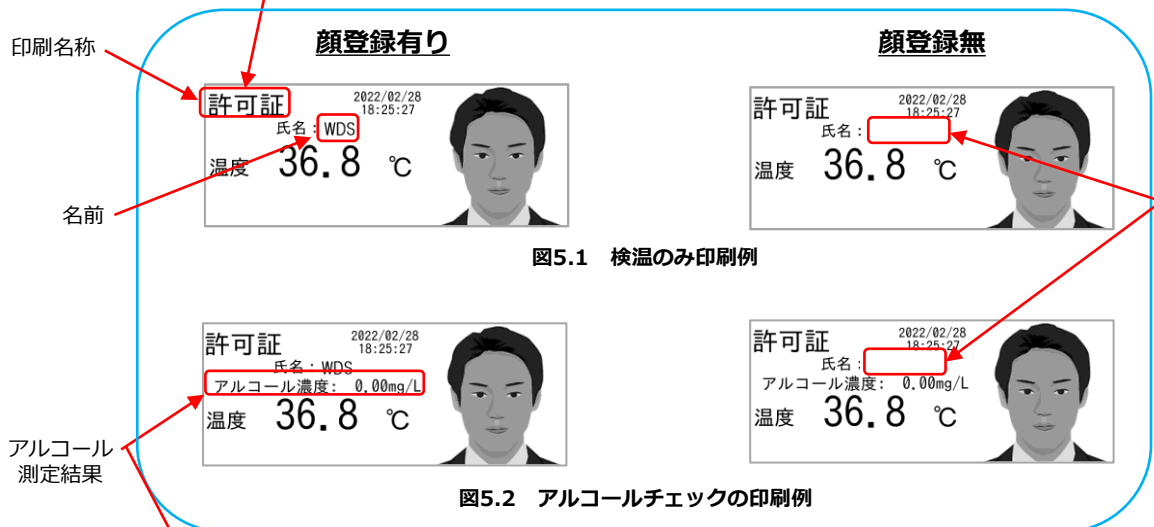
QL-800の初期値設定での印刷例を

図5.1: 顔認証+検温のみの印刷例

図5.2: 顔認証+アルコールチェックの印刷例

図5.3: 氏名、顔データを利用しないの印刷例

図5.4: 温度異常、アルコール検知時の印刷例



温度異常 (EG-Keeper側の体温検出閾値上限値以上)  
アルコール検知 (0.01mg/L以上)

## 6.2. BV410D



**BV410D外観  
(カッター付き)**

項目	
プリンタ品名	BV410D-TC02-S 感熱ラベルプリンタ(フルカッター付)
メーカー	東芝テック
インターフェース	有線LAN I/F
使用ラベル型番	KP-20μジラベル32x25 KP-20μジラベル60x43
ラベル仕様	KP-20シリーズ サイズ32x25：幅 25mm長さ 32mm 1000枚/ロール サイズ60x43：幅 43mm長さ 60mm 600枚/ロール 色：黒

### 6.2.1. 事前準備

手順1 有線LANでの接続。

BV410Dは、有線LAN I/F接続です。別途、LANケーブルをご用意ください。  
EG-Plus2の接続は、イーサネットHUB経由にて接続してください。

手順2 BV410Dの準備。

BV410Dの取説に従い、ロール紙のセットを行い電源をONします。  
取説に従い、IPアドレスを手動で設定してください。BV410DのIPアドレスは、下図のEG-Plus2のセグメントと同じとしてください。社内ネットワークに接続時は、システム管理者とご相談ください。

### 6.2.2. 印刷設定と印刷例

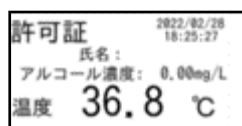
ロール紙のラベルサイズにより印刷内容が異なります。  
ラベルサイズの設定は、矢印の先になります。

① KP-20μジラベル60x43

ラベルサイズが異なるだけ、印刷内容は、QL-800と同じです。  
5.1.2章を参照ください。

② KP-20μジラベル32x25

本ラベル使用時、設定の如何にかかわらず顔印刷はできません。  
下図は、印刷例です。



顔印刷以外の印刷設定、及び印刷内容は、QL-800と同じです。

## 7. EG-Plus2の緊急時の対処方法

### 7.1. 一時的に初期IPアドレスでアクセスする方法

EG-Plus2に設定したIPアドレスをお忘れの場合、一時的に初期IPアドレスへ戻す方法を説明します。

1. FAT32のフォーマット形式のUSBメモリーをご用意ください。
2. USBメモリーの直下に「config」ファイルを作成してください。
3. テキストエディタで「config」ファイルを開き、下記内容を入力して保存してください。

```
{
  'eth_ip' : '192.168.1.50',
  'eth_gw' : '192.168.1.1',
  'eth_mask' : '24',
  'eth_dns' : '192.168.1.1',
  'wlan' : False,
  'status' : ''
}
```

4. USBメモリーをEG-Plus2のUSBソケットに挿入して再起動してください。  
 ※再起動したEG-Plus2は挿入したUSBメモリーの設定ファイルを読み込み、USBメモリーに書き込みした設定のIPに変更され、ブラウザからアクセスできるようになります。

### 7.2. EG-Plus2本体を初期化する方法

#### ご注意

初期化を実行すると設定した内容は全て消去され、出荷時の状態に戻ります。  
 ご使用の際は、ご注意ください。

EG-Plus2本体を初期化する方法を説明します。

1. FAT32のフォーマット形式のUSBメモリーをご用意ください。
2. USBメモリーの直下に「config」ファイルを作成してください。
3. テキストエディタで「config」ファイルを開き、下記内容を入力して保存してください。

```
{
  'eth_ip' : '192.168.1.50',
  'eth_gw' : '192.168.1.1',
  'eth_mask' : '24',
  'eth_dns' : '192.168.1.1',
  'wlan' : False,
  'status' : 'recovery'
}
```

4. USBメモリーをEG-Plus2のUSBソケットに挿入して再起動してください。  
 ※再起動したEG-Plus2は挿入したUSBメモリーの設定ファイルを読み込み、USBメモリーに書き込みしたstatusがrecoveryの設定により、EG-Plus2本体の設定ファイルとデータベースが初期化されますので、ブラウザから初期IPアドレスにてアクセスできるようになります。

## 8. 外部送信データの内容説明

### 8.1. メール通知のデータ内容

メール通知のデータ内容は、以下の4項目のtextデータとJPEGファイルです。

記録時刻 : 2022-09-28 17:13:12  
氏名 : ミヨシケンジ  
温度 : 36.6℃  
アルコール : 0.00mg/l

EG-Keeperのスナップショット写真が添付されます。ファイル名 : face.jpeg

温度異常（EG-Keeper側の体温検出閾値上限値以上）、アルコール検知（0.01mg/L以上）すると、メール件名の入力値の後ろに“**異常値があります**”が追加されます。

初期設定の件名の時のメール件名は、以下になります。

**EgPrint(異常値があります)**

<個人情報>の設定で、

氏名、顔データの利用を“しない”に設定すると、

“氏名”の項目は削除され、なおかつスナップショット写真が添付されません。

## 8.2. データ送信のデータ内容

データ送信は、JSON形式のデータを送信し、送信内容は、以下の通りです。

```
{
  "time": 1550721224,      --- int型
  "name": "山田",          --- string型
  "temperature": 36.6,     --- flot型
  "body_alc": 0.15,        --- flot or int型
  "image": "data:image/jpeg;base64<br>,/9j/4AAQSkZJRgABA", " --- string型
  "devId": 05005617,       --- string型
  "personId": "1234567890", --- string型
  "customButton": ""       --- string型
}
```

### 【説明】

"time" 測定時間 (UTC時間) 単位 秒  
 "name" EG-Keeper登録者の名前  
 "temperature" EG-Keeperの温度測定結果  
 "body\_alc" EG-plus2 アルコール測定結果 単位 mg/L ("9999"の時、測定しないを示す)  
 アルコール値は、小数点以下2桁までの値で送られます。  
 "image" EG-Keeperのスナップショット画像 Base64エンコード JPEG  
 "devId" EG-Keeperのデバイスシリアル番号  
 "personId" EG-Keeper登録者のユーザーID番号  
 "customButton" "" ( NULL固定)

### <個人情報>の設定で、

氏名、顔データの利用を"しない"に設定すると、  
 "name"、"image"の項目が削除されます。



## 9. CSVファイルの説明

3.3章“ログ画面”で記載しているCSVダウンロードボタンをクリックすることにより、ログデータをCSV形式にてダウンロードします。

ダウンロード先は、Windows PCの“ダウンロード”フォルダー固定となります。

ファイル名称は、

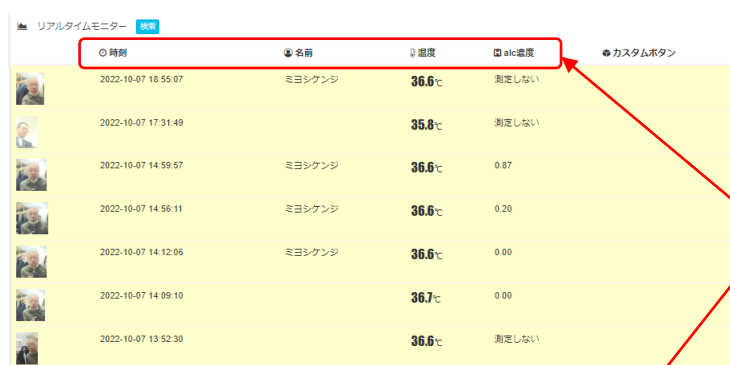
download-20221007.csv

となります。数字の部分にダウンロードした日付が入ります。同じ日時に複数回ダウンロードすると、日付の後ろに、空白+(1)、空白+(2)と自動的に数字がUPされていきます。

例) download-20221007 (1).csv

ログとCSVファイルの保存データの対比は、以下の通りです。

**スナップショット画像は、CSVファイルに保存されません。**



時刻	名前	温度	alc濃度	カスタムボタン
2022-10-07 18:55:07	ミヨシケンジ	36.6℃	測定しない	
2022-10-07 17:31:49		35.8℃	測定しない	
2022-10-07 14:59:57	ミヨシケンジ	36.6℃	0.87	
2022-10-07 14:56:11	ミヨシケンジ	36.6℃	0.20	
2022-10-07 14:12:06	ミヨシケンジ	36.6℃	0.00	
2022-10-07 14:09:10		36.7℃	0.00	
2022-10-07 13:52:30		36.6℃	測定しない	

保存項目 (4項目)

- ・ 時間
- ・ 名前
- ・ 温度/体温 °C
- ・ alc濃度 mg/L (アルコール値)

<ログデータ>

	A	B	C	D	E
1	時刻	名前	体温	alc濃度	カスタムボタン
2	2022/10/7 13:52		36.6	測定しない	
3	2022/10/7 14:09		36.7	0	
4	2022/10/7 14:12	ミヨシケンジ	36.6	0	
5	2022/10/7 14:56	ミヨシケンジ	36.6	0.2	
6	2022/10/7 14:59	ミヨシケンジ	36.6	0.87	
7	2022/10/7 17:31		35.8	測定しない	
8	2022/10/7 18:55	ミヨシケンジ	36.6	測定しない	

<CSVファイル>

ログは、新しい日時順に表示されますが、CSVファイルは、古い日時順に保存されます。

カスタムボタンは、本バージョンでは、サポートしていません。

## 10. システムログの説明

3.3章“システムログ”で記載している取得ボタンをクリックすることにより、システムログをテキスト形式にてダウンロードします。

ダウンロード先は、Windows PCの“ダウンロード”フォルダー固定となります。

ファイル名称は、

egplus2-2022-12-15\_1024.log

となります。数字の部分にダウンロードした日付が入ります。日付は、時刻同期したEG-keeperの時刻になります。

同じ日時に複数回ダウンロードすると、日時の後ろに、空白+(1)、空白+(2)と自動的に数字がUPされていきます。

例) degplus2-2022-12-15\_1024 (1).log

システムログは、取得ボタンをクリックした時刻からさかのぼって1万ステップ分を、古い時刻を先頭に保存します。

**システムログの解析は、弊社WDSにて行います。**

よって、もし、不具合等がありましたら、その時点で、システムログを取得・保存し、不具合状況の説明と一緒に、以下の弊社サポートまで、メール送付お願いいたします。

送付先メールアドレス：[eg-support@wd-s.com](mailto:eg-support@wd-s.com)

**注、取得ボタンをクリックした後、ログイン画面が表示される場合がありますが、そのままログインすれば、ダウンロードが完了します。**

**しかしながら、ログイン画面が再度表示され、設定画面に戻らなくなるため、一度、ブラウザを閉じて、EG-Plus2のWEB設定画面を一から再表示させてください。**

## 11. EG-Keeperのパラメータへの自動設定について

EG-Plus2は、あるタイミングでEG-Keeperのパラメータを自動設定します。

以下に、そのパラメータと設定タイミングについて説明します。

### 1) “マスク検知をする”のパラメータの設定

【設定タイミング】

- ・アルコールチェックを“しない”->“する”or“自動”に設定時に、マスク検知をしないに設定
- ・アルコールチェックを“する”->“しない”or“自動”に設定時に、マスク検知をするに設定
- ・EG-Plus2を起動及び再起動直後に設定
- ・EG-KeeperのIPアドレスをスキャン実行から設定を実行したと直後に設定

### 2) “認証パラメータ”内の顔サイズの“最小高さ”、“最小幅”の設定

“最小高さ”=220、“最小幅”=220

を設定する。

EG-Keeperとの距離して約80cm(人により差が出ます)から顔認識するようになり、EG-Keeper前の通りすがりや近づく途中で発生する無用な検温動作や、プリマズワンの動作開始画面表示を防止します。

【設定タイミング】

- ・EG-Plus2を起動及び再起動直後に設定
- ・EG-KeeperのIPアドレスをスキャン実行から設定を実行したと直後に設定

**注、本自動設定を停止することはできません。**

## 1 2. 時刻同期について

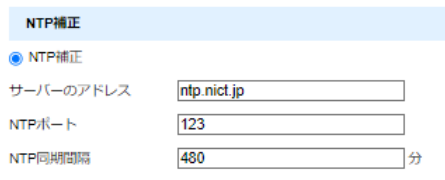
EG-Plus2は、EG-keeperの時刻を取得し同期します。

よって、あらかじめ、以下の手順にて、EG-keeperの時刻の設定を行ってください。  
この時刻は、システムログのタイムスタンプとして使用されます。

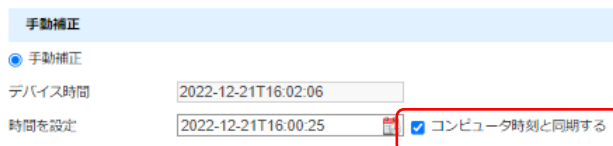
手順1 PCをEG-keeperと接続し、ブラウザからWEB設定画面を開きます。

手順2 “システム設定”->“時刻設定”の画面を開きます。

手順3 EG-keeperが常時インターネットに接続されていれば、NTP補正を選択し、下図の通り設定欄を



手順4 EG-keeperがインターネットに接続されていなければ、手動補正を選択し、“コンピュータ時刻と同期する”をチェックして、“保存”し、接続したPCの時刻と同期させます。



### 【EG-Plus2がEG-keeperの時刻と同期するタイミング】

以下の、3つのタイミングがあります。

- 1) EG-Plus2の起動・再起動後に同期する。
- 2) EG-keeperのIPアドレス・スキャン設定からの接続時に同期する。
- 3) 1)、2) 以後、約1時間毎にEG-keeperの時刻と同期させる。  
EG-keeperが接続されていないタイミングでは時刻は取得できません。

EG-Plus2の時刻は、上記タイミング以降に、システムログを取得してください。

ファイル名：egplus2-2022-12-15\_1024.log

ファイル名内の日時（赤枠内）が、EG-keeperの日時と同じであることを確認してください。

EG-Plus2の時刻はタイミングによりEG-keeperと僅かにずれる場合があります。

注. EG-Plus2は、バッテリーを搭載していません。電源をOFFした時点で時刻は止まります。